

No. 354【2019年4月26日配信】

「中世の里浪岡」オリジナル包装紙 (担当: 児玉)

こんにちは。文化財課の児玉です。もうすぐ「平成」から「令和」の時代が変わります。平成の時代では、デパートや専門店などに直接出向かなくとも、パソコンやスマートフォンを用いて買い物ができる便利な時代になりました。「令和」の時代には、ロボットやドローンが配達してくれるのでしょうか。

私はよく浪岡地区で買い物するのですが、和菓子店や精肉店などでは包装紙が使用され、お店ごとにデザインが工夫されています。店構えや店内の雰囲気を見るだけでなく、包装紙のデザインも買い物の楽しみの一つです。

お店の方とお喋りをしていると「浪岡城など浪岡の魅力をもっと県内外の人たちに知ってもらいたいよね」という話題になることが多く、また、浪岡自治区地域協議会の会議でも「中世の里」をテーマとした地域活性化に関する意見が多くありました。

「中世の里 浪岡」というキャッチフレーズについては、広く浸透してきていると感じますが、時間と空間の両方の意味をもつ「中世の里 浪岡」が、どんな里なのかを簡単にイメージすることは難しいと思います。

そこで、「中世の里 浪岡」のイメージを視覚化しようと、昨年9月に地域住民や大学、行政が連携したデザインワークショップを行い、最終的には浪岡の商店街の魅力を発信する取り組みとして、2種類の包装紙を製作しました。

包装紙Aは、「優美な自然・文化 ー水と山のある暮らしー」をコンセプトに、浪岡城跡、浪岡城跡の桜、浪岡城跡からの岩木山の景観、源常林の大銀杏、伝北畠墓所五輪塔、北畠氏家紋などを図柄としています。

一方、包装紙Bは、「クロスカルチャー ー多様な文化・創造物ー」をコンセプトに浪岡城跡内館にある石碑、浪岡地区にみられる鳥居やりんごの木のほか、様々なシチュエーションで登場する「ばさらくん」などを図柄としています。



包装紙 A



包装紙 B

浪岡城跡では、４月２７日（土曜日）・２８日（日曜日）の二日間にわたり「第３８回 なみおか桜まつり」が開催されます。期間中は、さまざまなイベントが催されますので、是非とも足を運んでいただくとともに、浪岡地区の商店街にも立ち寄っていただき、お買い物の際には包装紙のユニークなデザインも楽しんでいただければと思います。

包装紙使用店舗（２３店舗）

富士見堂、つしま堂、肉のおがさわら、富士酒店、クラウチスポーツ、マルヒロ、総合衣料マエダ、Esthetic Space HASEGAWA、洋菓子のオヤマ、ファミリープラザヨシオカ、シカナイデンキ、村林薬局、浪岡フラワーショップ、山内水産、林商店、浪岡主婦の店、平野時計店、猪股薬局、大伴焼信平、舘山時計店、神薬局、中畑商店、お菓子の三松堂（順不同）

※包装紙は、各店舗で無くなり次第終了となります。